

ランピースキン病生ワクチン（Bovilis Lumpyvax-E）を接種した牛に由来する食品の安全性に係る食品健康影響評価に関する審議結果(案)についての意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 令和6年2月21日～令和6年3月21日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 2通
4. 頂いた意見・情報及び食品安全委員会の回答

	頂いた意見・情報	食品安全委員会の回答
1	資料で言及されている国だけではなくすべての外国の事例を集めて一番厳しい基準に合わせてください。また、規制を設けた国が新たに現れた際にはそれも含めて最も厳しい基準にしてください。また、健康への長期的、慢性的な影響も評価してください。	食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等のリスク管理を行う行政機関から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正に食品健康影響評価を行っています。 本製剤の主剤は人に対する病原性はなく、添加剤はいずれも食品又は食品から通常摂取されている成分、食品添加物及び動物由来タンパク質分解物として食品安全委員会において既に評価されており長期的に摂取しても人への健康影響は無視できる程度とされていることから、本製剤が適切に使用される限りにおいて、本製剤を接種した牛に由来する食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と判断しました。 頂きました使用基準に関するご意見については、リスク管理に係るものと考えられることから、リスク管理機関である農林水産省に情報提供いたします。
2	「本製剤を接種した牛に由来する食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。」としていますが、ワクチンとしての効果があるのであれば、同程度の副反応もあるだろうし、家畜の体内で、現代科学では理解できないリスク要因となっている可能性もある。ひいては、それを摂取する人体へのリスクも否定できないはず。「ワクチン不可欠」という名目で備える（＝接種する）という絵は、人への新コロワクチンでも見られた光景であり、ワクチン接種による被害が過去最大であったにも関わらず、検証もしないし、接種の中止もしないスタンスと同様の態度をとられるのではないかと、危惧	食品安全委員会は、国民の健康の保護が最も重要であるという基本的認識の下、規制や指導等のリスク管理を行う行政機関から独立して、科学的知見に基づき客観的かつ中立公正に食品健康影響評価を行っています。 頂きましたワクチン接種の方針に関するご意見については、リスク管理に係るものと考えられることから、リスク管理機関である農林水産省に情報提供いたします。

	しています。	
--	--------	--

※頂いたものをそのまま掲載しています。